

2 - 2 1983年4月～5月三陸はるか沖の地震活動

Seismic Activities far East off Sanriku, April - May, 1983

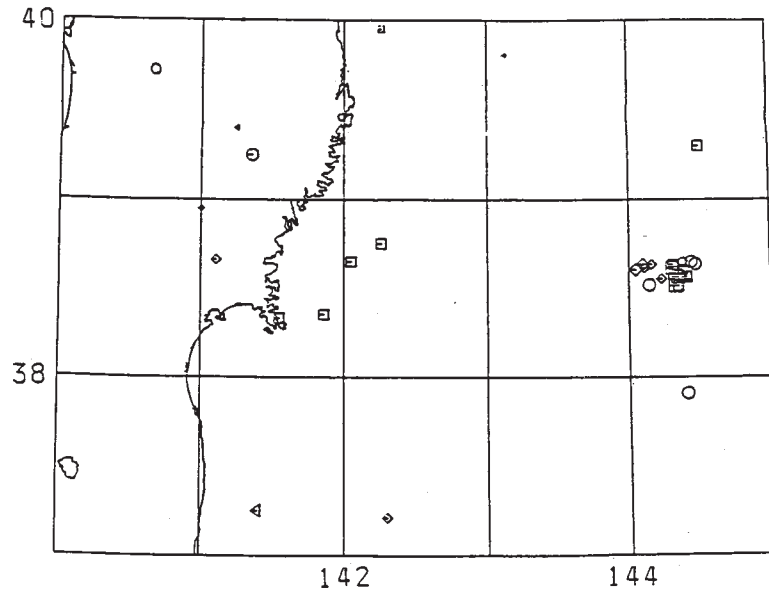
気象庁仙台管区气象台

Sendai District Meteorological Observatory, Japan Meteorological Agency

1983年4月20日頃から、三陸はるか沖の東経144.0～145.0度、北緯37.5～39.0度の区域内で地震が頻発し、30日までに6回、5月に入ってから8日までに18回くらいの地震が観測された。第1図は5月1日から8日までに、三陸はるか沖およびその周辺に発生した地震の震央分布であるが、上記区域内の白丸は4月20日から30日までの地震である。観測された地震のマグニチュードは3ないし4クラスで、震源の深さは60km以浅となっている。

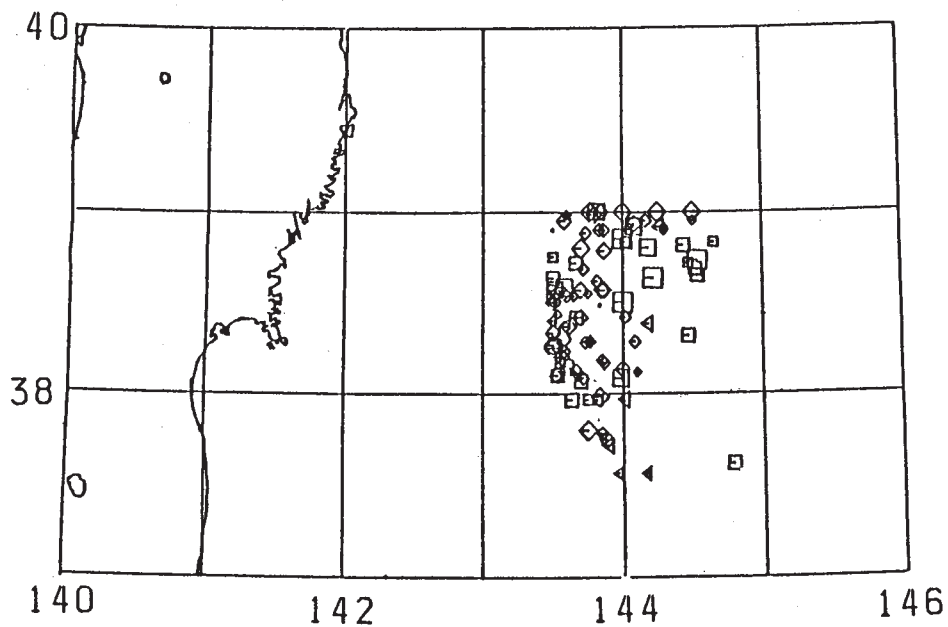
第2図は1926年から1982年までに、東経143.5～145.0度、北緯37.5～39.0度の区域内に発生した地震の震央分布である。今回の地震活動は、この期間地震があまり起こっていなかったところで起こっているようにみえる。

第3図は、第2図に示した地震についてその回数と放出エネルギーの積算図である。この海域では近年の40数年間目立った活動はみられなかった。1980年頃から地震回数が多くなっているのは、高感度地震計が整備されたためである。



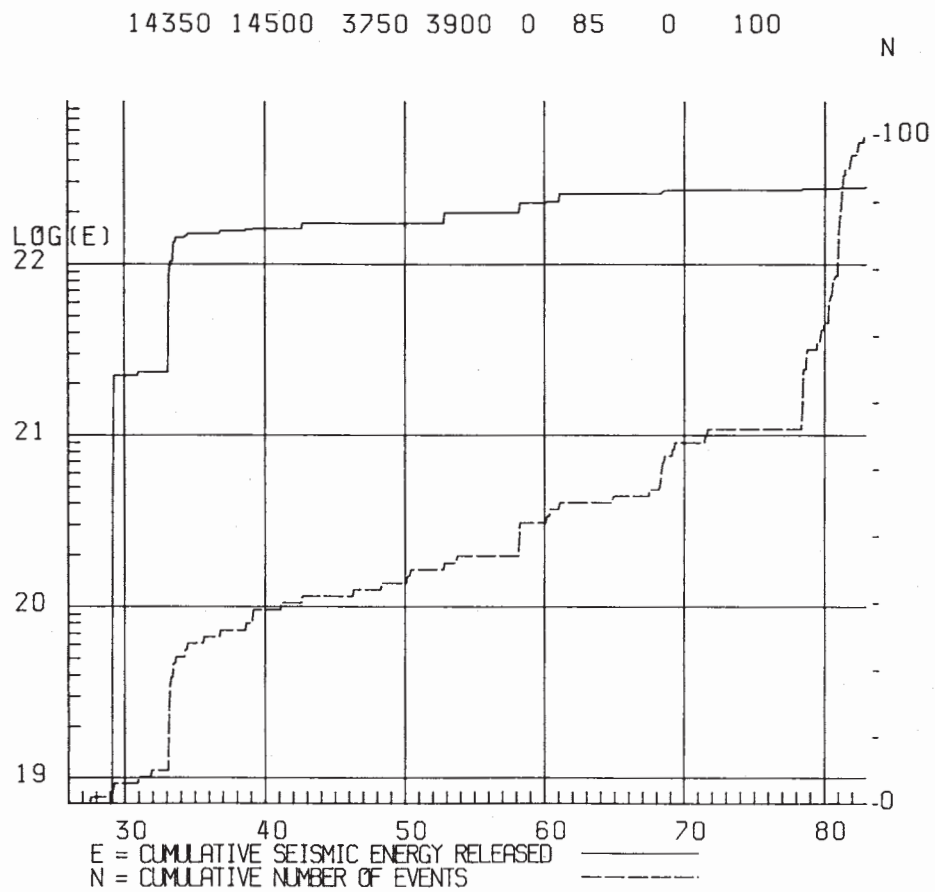
第1図 1983年5月1日～8日に東北地方南部およびその東方沖に発生した地震の震央分布（白丸は4月20日～30日に発生した地震）

Fig. 1 Distribution of epicenters of earthquakes in the region far east off Sanriku, May 1 - 8, 1983. Open circles denote earthquakes occurred between April 20 - 30, 1983.



第2図 1926年～1982年に三陸はるか沖（143.5°E～145.0°E, 37.5°N～39.0°N）に発生した地震の震央分布

Fig. 2 Distribution of epicenters of earthquakes off Sanriku (143.5°E - 145.0°E, 37.5°N - 39.0°N), 1926 - 1982.



第3図 1926年から1982年に三陸はるか沖（143.5°E～145.0°E, 37.5°N～39.0°N）に発生した地震の回数と放出エネルギーの積算図

Fig. 3 Cumulative number and seismic energy released for earthquakes shown in Fig. 2.